

外国につながる子どもたちと歩む 多文化共生の学校づくり

- 先生の「困った」にJICAがこたえます！ -

こんなことで困っていませんか？



言葉のかべ

言葉の壁で授業内容を理解させることが難しく、子どもが取り残されてしまう...



文化のかべ

保護者との意思疎通ができない、文化も違って関係作りが難しい...



教材のかべ

授業で多文化共生を取り上げたいけれど、教材がない...



進路のかべ

外国につながる生徒の進路指導、どうすればいいの...



第一歩のかべ

いままで多文化共生を意識してこなかったから、何から取り組めばよいか...

JICAはこれまでの国際協力の経験とネットワークを活かし、
学校の先生と共に多文化共生を進めるお手伝いをしたいと考えています。

初心者でも
OK！





Q1. 多文化共生を授業で扱いたいのですが、教材がありません。

国際理解教育や多文化共生の教材、授業で活用できるSDGsや国際協力の映像・写真、活動事例集まで、無料で提供しています。視覚的にわかりやすい教材（例：移民スゴロク）など、海外移住資料館の貸し出し教材も、外国人の多様な文化や習慣が存在する現在の日本での多文化共生を学ぶのに役立ちます。

Click!



多文化共生

多文化共生を学ぶ教材



国際理解教育

国際理解教育の教材



実践事例

実践事例・学習指導案（キーワード検索可能なデータベース）→「多文化」で検索



Q2. 多文化共生や異文化理解の体験活動を取り入れたいです。

JICAの拠点や体験型の施設があります（国内15カ所、無料）。

JICA横浜の海外移住資料館では、日本の移住者の経験・貢献を学び、異文化や異なる価値観を尊重し、多文化共生社会の実現を考えることができます。

また、JICA拠点では民族衣装の貸出や食文化体験など、リアルな国際体験も提供しています。

体験型施設

国内拠点・体験型施設
海外移住資料館



※JICA海外協力隊の経験者による国際協力出前講座（対面／オンライン）も実施中です。（要事前相談・テーマ応相談）



Q3. 言語の壁で授業が理解できず、ただ座っているだけになってしまいう児童生徒がいて悩んでいます。

母国語で学べる補助教材があります（無料）。内容の理解が進みやすくなります。

母国語の教材

算数・数学、理科の教科書、指導書、練習帳など



1：出前講座で協力隊の体験談を聞いてみよう！

異文化の見方が変わる！クラスの雰囲気が変わる！
「文化は違って当たり前」と子どもたちが気づく！



[国際協力出前講座](#)



2：小学校で「移民スゴロク」を使ってみよう！

外国につながる子どもも参加しやすくなる！



[海外移住資料館
教材貸出・学習コンテンツ](#)



3：海外移住資料館や、JICA施設を訪問してみよう！

日本にいる外国人や外国につながる児童生徒とお互いの文化や価値観を尊重することや、多文化共生社会をどう実現するか考えるヒントにつながる！

JICA 多文化 教材



2

教員の学び、指導力アップ



Q1. 自分自身が多文化共生について学ぶ機会がありません。

JICAは教員対象の多文化共生・国際理解の研修やセミナーを、国内外で開催しています。オンライン・対面両方の機会があります。実践事例や学習指導案探究教材のデータベースも公開しています。

Click!



【国内】教員向け多文化共生研修

共創プログラム



「多文化共生の文化」共創プログラム。(全国の教員向け)

共生への学び



「学校・地域ではじめる共生への学び」(中部地方中心)

イベント・セミナー



教育関連の多文化共生セミナー、イベント情報



【海外】教師海外研修

開発途上国の教育現場や現地の生活、国際協力現場などを視察し、その経験を日本の教育に活かす研修です。ブラジルやパラグアイなど中南米への渡航では、日系家庭との交流を通じて多文化共生を考えます。

教師海外研修



概要・募集案内

帰国後の授業実践



授業実践事例

Q2. 他校の取り組みを知りたいのですが？

全国の事例や教育現場の取り組み、アイデアを紹介しています。

多文化共生

アイデアBOOK



多様な社会

学びのプログラム集



多様な文化は
どんな教室にも
きっとある！



教員向け多文化共生の研修に参加してみよう！



[教員向け研修](#)

国際理解教育のヒントや、外国人保護者との接し方を学べる！
「やさしい日本語」の導入や学校だよりの多言語対応で保護者の信頼感アップ！

教師海外研修に参加してみよう！

ペルーでの視察を通じて「家族の背景」を重視した支援が必要と実感した教員が、帰国後に、学校全体で生徒のルーツ理解に取り組み、成果を上げた事例も。

[2024年度教師海外研修報告書](#)
[【派遣国：ペルー】](#)

3

保護者・家庭との関係づくり

(出自国の教育制度を知る)



Q1. 保護者との意思疎通が難しく、困っています。

外国につながる児童生徒の出自国に関する教育システムや学校文化のガイド集が、保護者理解や授業づくりに役立ちます。保護者へは現地語版を見せて違いを説明し、コミュニケーションに活用できます。

Click!



各国教育制度

大好評!



11か国の教育制度・学校文化ガイド集

文化背景を尊重したコミュニケーション（敬語を避けたやさしい日本語等）も有効です。

JICAは、国際協力推進員を通じて以下の協力が可能です。

- 【例】・国際交流団体による語学ボランティア情報の提供や、対応事例の共有
- ・地域の学校の工夫をご紹介。家庭訪問や行事参加のヒントになります。

4

進路・キャリア支援



Q1. 進路指導で家庭の理解が得られず、説明が伝わりません。 生徒も将来像を持ちづらく、選択肢が狭まっています。

JICAは外国につながる生徒のキャリアを側面から支援しています。

教育フェアへのブース出展や学校外のセミナー、フィールドワークも行っています。

【例】「外国につながる中学・高校生と若者のための教育フェア」（NPO法人ABCジャパン主催、JICA横浜共催、神奈川県教育委員会後援）では、進学説明を4カ国語で同時通訳し、先輩の体験談も紹介。



JICAは、人材ネットワークを構築し、地域の関係者をつなぎ、日本と世界を結びます！

【例】新潟県長岡市ではモンゴルの高専生をデジタル技術に強い人材として育成し、県内企業でのインターンシップや就職を支援

▼まずは下記までご相談ください！



多文化共生を学ぶ情報 ～先生へのヒント～



多文化共生を学ぶ情報
～先生へのヒント～

忙しい！時間がない！先生方はまずこちらをご覧ください！

学校で外国につながる児童生徒を受け入れる際や、先生が困った場合の解決ヒントを集めました。多文化共生の教育に役立つJICAの情報を参照できます。



まずはご相談ください！

地域のJICA国際協力推進員や、国内のJICA拠点、体験型展示施設（地球ひろば）にお気軽にご連絡ください！

【お問合せ先】 [JICA国際協力推進員一覧](#)
(JICAデスク)



[国内のJICA拠点](#)



[JICA](#)
地球ひろば

